

# 8 森のおくりもの

2010年 8月号

クズの葉にとまるノシメトンボ



※暑い時、太陽の光の量を減らすためこのような姿勢をとると考えられています。

イラスト：木田 秀幸（角田市）

この文章を書いている日は朝から雨で、事務所内の温度は24度、湿度は80%近くあり、やや肌寒いくらいです。九州では雨のため、宮崎県と鹿児島県を除く各県に大雨・洪水警報が出ていました。お山でも最近では雨の日が多いせいか湿度が高く晴れ間が出て観察がてら巡回に出ると、汗だくになっていつまでもベトベト感が取れない。お山に暮らしている動物たちはこんなときはどうしているのだろうか。もしかしたら、風通しのいいところで一皮脱いでホウの葉を団扇代わりに涼んでいるのかも知れない。憂鬱な梅雨時、カモシカやイノシシ、リスが、想像するだけでも楽しくなる。

（武智）

## 日本最恐の昆虫!? スズメバチの仲間

毎年、毒ヘビやクマを上回る死亡被害者を出すスズメバチ。今回は、スズメバチの対処法についてご紹介します。

### オオスズメバチ



日本産ハチ類中最大で、攻撃性は非常に強い。地中や木の洞等に大きな楕円形の巣を作る。

### キイロスズメバチ



日本産スズメバチ類中最小だが、巣は最大規模となり直径1mに至ることもある。近年、都市周辺部で激増していると言われ、攻撃性も強い。

夏の終わりから秋にかけて、スズメバチの被害がピークを迎えます。この時期、巣が最も発達し巣の防衛力が高まっていますので、巣に近づいたり、刺激することは避けるようにしましょう。

スズメバチは一定速度以上の左右の動きに敏感と言われ、左右に手で振りはらったり、体をひねる動きはスズメバチを刺激し、襲われてしまいます。もし野外でスズメバチに出会ったら、じっとして飛び去るのを待ちましょう。(※追いかけている場合は、地面に伏せるなどして攻撃をかわし、巣から離れましょう。) また、スズメバチは黒に強く反応すると言われています。野外では、黒い衣服をさげ、つばの大きな帽子を着用し、頭や目を守ることも大切です。その他、毒液に含まれる香りで仲間に攻撃の合図を送っている言われ、こうした香り成分の一部は香水等に含まれている可能性があり、香水等を控えることも大切です。

観察の森では、オオスズメバチ、キイロスズメバチ、コガタスズメバチなどがよくみられます。樹液の出る木では、樹液を採餌していることもありますので、カブトムシなどの観察の際には、十分注意しましょう。

【文・イラスト：咲間】

ク イ ス

【もんだい】「ハチの巣」を意味する言葉が語源となったお菓子は何でしょう？

(A) シュークリーム



(B) ワッフル



(C) ドーナツ

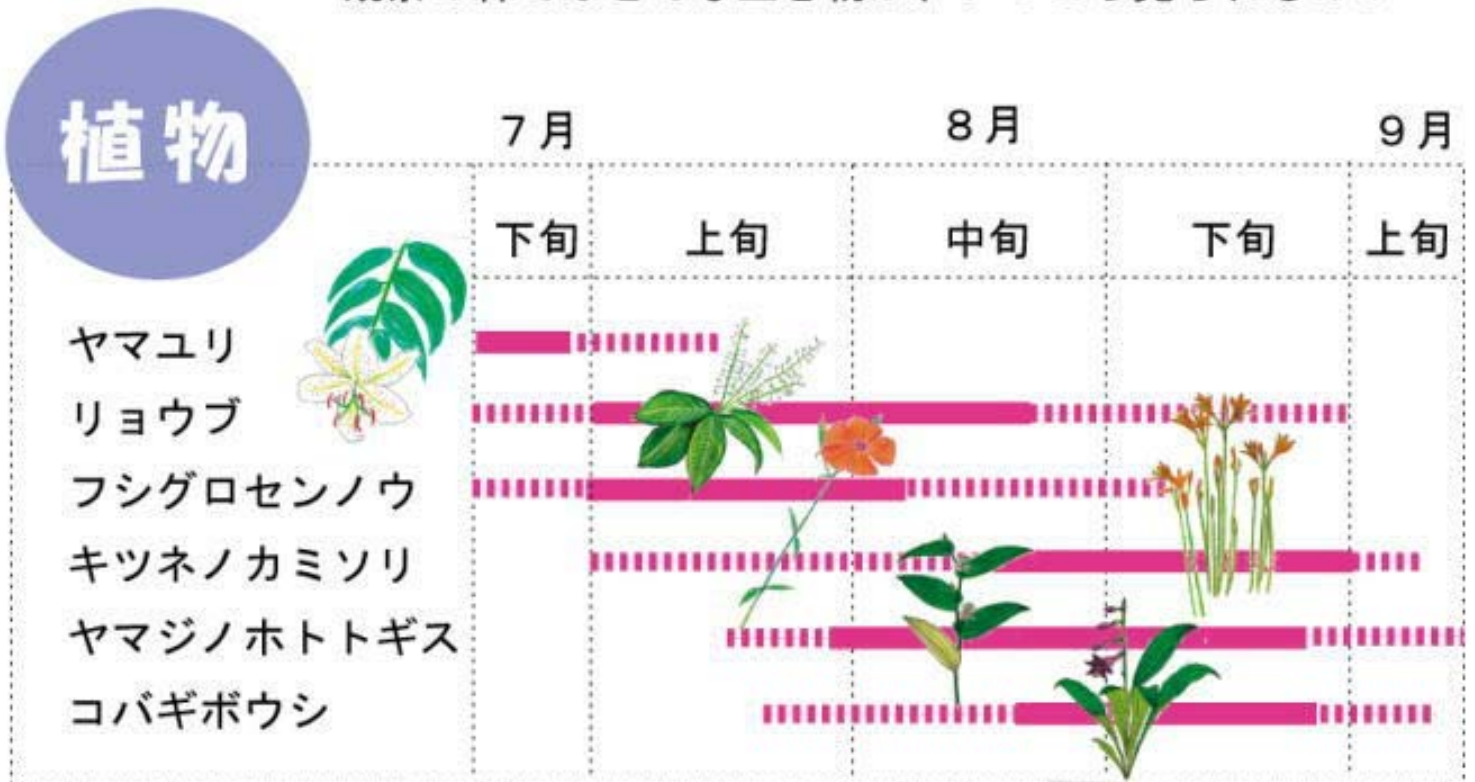


【答えは、5ページ ㊦】

# 8月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

## 植物

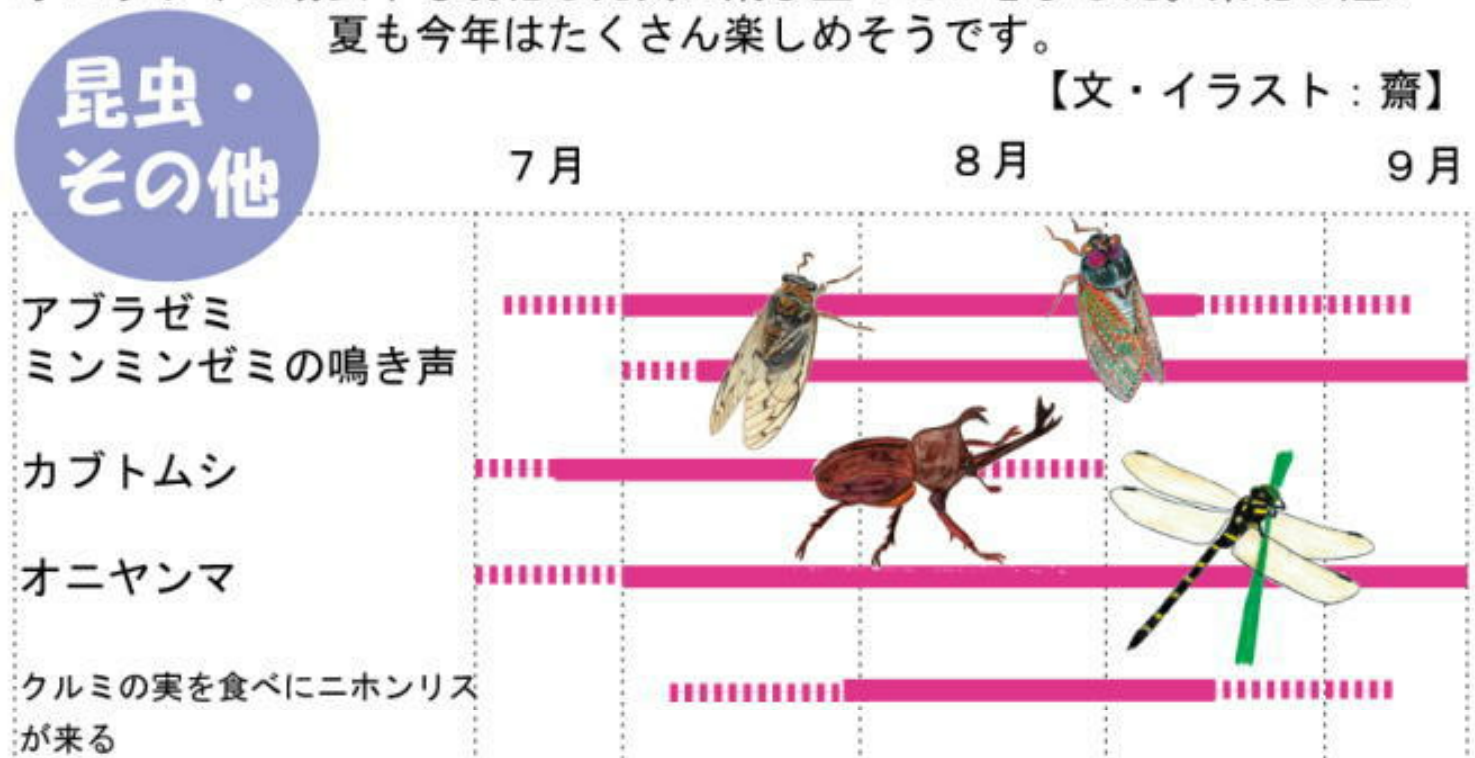


東北の梅雨明けは7月18日といつもより早く（去年は発表なし）その後一気に気温が上がり日々うだるような暑さが続いています。皆さんどうお過ごしでしょうか。今年はいつもと比べてランの仲間が多く見られるような感じがします。コケイラン、キンセイラン、オオバノトンボソウなど昨年では見られなかったものに出会うことができました。

カブトムシも少しずつですが現れはじめ、センターで保護していたオムラサキの幼虫♀も羽化し元気に飛び立っていきました。東北の短い夏も今年はたくさん楽しめそうです。

【文・イラスト：齋】

## 昆虫・その他



# みんなで自然観察

イベント報告  
夜の森の観察会

雨の日が続く中、狙ったように7月10日は晴れてくれました。観察会は19時からでしたが、日没とほぼ同時刻なので、まだまだ明るいです。薄明の間、この日の主役であるゲンジボタルに関連した、生物多様性についての話をしました（主な内容は、ホタルの方言と呼ばれる発光パターンの地域差やDNAレベルで区別される個体群。ゲンジボタルやカワニナの遺伝的汚染の問題。餌として移入されることのあったコモチカワツボと外来種問題について）。話しながら、バットディテクター（コウモリの超音波を可聴音に変換する装置）を空に向けていると、アブラコウモリが飛んでいるのに気付きました。多くのコウモリは、自分が発する超音波の反射を聞くことで、地形や餌である飛翔昆虫を認識しています。ですから、バットディテクターがあれば、コウモリが近くにいることや、餌を食べている様子がわかります。そんなことをしているうちに、辺りは薄暗くなってきました。19時40分、森の入口付近で、1匹目のゲンジボタルの光が発見されました。このときは、みんなで声を出して喜んでいました。そこから、暗い夜道を子供たちを先頭にして、センター方向へ移動しました。もちろん、ライトは使いません。大人は、子供たちが見えなくなるまで立ち止まっていたのですが、一瞬ライトが光るのが見え、誰かが「あっ、誰か怖くなったな」と、言いました。しかし、小学校にも上がっていない子供もいたので、結構勇気あるな～と思いました。子供たちがクロマドボタルの幼虫の光を見つけたので、ビンに入れて、みんなで観察しました。ヨシの湿地では、木道の上を、オバボタルの幼虫が這っていました。少し高い木の上で、点滅の早いヒメボタルも光っていました。残念ながら、ヘイケボタルを見ることはできませんでしたが、またの機会に探してみたいと思います。最後に、センター前でニイニイゼミの幼虫を見つけたところで、観察会は終了しました。しかし、幼虫を見つけてしまったために、帰るに帰れなくなった生き物好きさん数名が、羽化するまでがんばって観察を続けていました。センター付近でのゼミの羽化は、8月に入るとアブラゼミとツクツクボウシが中心になります。今回イベントに参加されなかった方も、夜の森の自然観察に挑戦してみたいはいかがでしょうか？！



ここが  
光る →



オバボタルの幼虫

ニイニイゼミの羽化

【文・イラスト: 林】

## 8月 館長の独り言

先月号の表紙でも書いたように、お山の木々の緑は濃く、鳥たちの鳴き声も「声はすれども、姿はみえず」の状態、遠くで鳴かれるとなかなか判定に困る。

最近はおきらめて耳にたよってなるべく相手を驚かせないように気配を消し、音をたてないようにして歩いているが、先の方で木の葉の一部が音もなく揺れたり、どこからともなくかすかな音がすると双眼鏡でのぞいたり、立ち止まってじっとしている。すると、ヒヨドリやメジロ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガなどが葉の裏にいる蝶や蛾の幼虫を探していたり、オオスズメバチやセミが飛んだり、青大将やカナヘビが日向ぼっこのためか観察路を移動していたり、風の通り道で葉が揺れていたたりする。

音がしたり葉が揺れる原因が判った場合はいいのだが、茂った木々の葉で覆われた観察路は時には昼なお薄暗く、何かわからないものが急に動いたり、物音がすると薄気味悪く、出ないというのは判っていてもなんとなく背筋がゾクゾクしてきて、今日はこの先行かないほうが良いというお告げだと勝手な解釈をして来た道を引き返す。

最近、センターの行事の「夜の森の観察会」で、懐中電灯に頼って観察路を歩いたが、一寸先は闇で電灯の光がないと歩くのも困難な状態の中、ホタルが光を点滅させながら飛んでいたが、人工照明がない夜道を歩いている物音がしたり、光が点滅しながら動くのを見た昔の人は物の怪が出たと思ったに違いない。それが、水木しげるの「ゲゲゲの鬼太郎」の世界につながっているのではないかと思っている。

やはり、目で物を見、耳で音を聞き何者かわかったほうが安心できていいが、お山に不謹慎だと怒られるかもしれないがなんとも言えないゾクゾク感を一度は経験しておくのもいいかもしれない。暑い日にゾクゾク感を体験したい方は、ぜひ太白山においでください。

### クイズのこたえ

⑧ ワッフル



中世に北部ドイツやオランダ、ベルギーで使用されていたドイツ語の、蜂の巣を意味する「Wafel」が語源で、ウエハース、ゴーフルも同じ語源と言われ、蜂の巣状の凹凸のある焼き菓子を意味しているそうです。

日本では、蜂の巣状の凹凸のある厚手の焼き菓子をワッフル、より薄手のものをゴーフルと呼んでいるようです。

## 8月の催し

### 『夏休み生きもの相談室』

生きものに関する疑問や質問にお答えします。

**夏休み期間中**  
9:00~16:30

【対象】小・中学生

**申**し込み⇒電話にて

### 『虫のいどころ』

雑木林の昆虫たちを観察します。

**8月21日(土)**  
10:00~11:30

【講師】斎藤雄二氏  
(宮城昆虫地理研究会幹事)  
【持ち物】観察用具、雨具など  
【定員】20名

**申**し込み⇒7日9時から電話にて

### 『ガイドウォーク』

8月のテーマは『夏の人気者たち』です

**1日,8日,15日,22日,29日** (毎週日曜日)

午前の部 → 10:00~11:30

午後の部 → 13:30~15:00

★申し込み不要です  
自然観察センター前にお集まりください。

### 休館日

2日,9日,16日,23日,30日

## 9月の催し

### 『秋の昆虫観察』

**9月18日(土)**  
10:00~11:30

【講師】中瀬潤氏  
(自然・昆虫写真家)

**申**し込み⇒詳しくは、森のおくりもの  
9月号か、市政だよりにて

### ♪森へおいでください♪



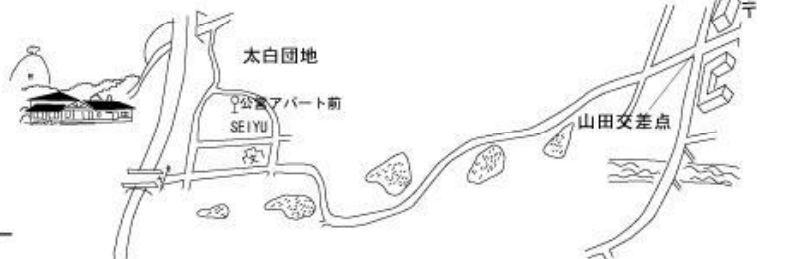
#### 宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### 車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



### 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2009年8月号(毎月1回5日発行)  
発行:(財)仙台市公園緑地協会  
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133